

# 大野城総合公園キャンプ場再整備概要

## この春オープン!

大野城総合公園キャンプ場は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進んでいること、また近隣には、「大野城跡」を含む「ワンヘルスの森（福岡県立四王寺県民の森）」や「まなびのやど福岡（福岡自治研修センター）」、「大野城総合公園（まどかパーク）」など、多くの人が集まる地域となっていることから、これらの地域資源との連携を図り、多くの方々が来場される「にぎわいの場」を創出することを目的として、全面的にリニューアルしています。

整備にあたっては、キャンプ場整備のコンセプトを、「『利便性・気軽さ』を追求したキャンプ場」とし、近隣キャンプ場との違いを図りながら、「キャンプ初心者」や「ファミリー層」、「団体利用者等」が利用しやすいキャンプ場を目指しています。



【ワンヘルスの森】県民の森は、豊かな自然が広がり多様な野生生物が生息するなど、ワンヘルスの理念を実感できる格好の森林公園です。四王寺県民の森をワンヘルスを象徴する施設として「ワンヘルスの森」に福岡県は位置づけています。



キャンプ場の整地工事



管理棟の建築工事



「おおの山城大文字まつり」  
四王寺山に映える「大」の字

- ◎ キャンプゾーン 約 8,200 m<sup>2</sup>
  - 段差を付け、全てのテントサイトから眺望及びプライベート空間を確保
  - ❖ オートサイトエリア(約 1,900 m<sup>2</sup>)
    - ・テントサイト:6区画(1区画当たり約 100 m<sup>2</sup>)、駐車スペース・電源有
  - ❖ フリーサイトエリア(約 3,200 m<sup>2</sup>)
    - ・テントサイト:10区画(1区画当たり約 65 m<sup>2</sup>)
  - ❖ 管理棟
    - ・森に溶け込むデザインとし、受付や売店を整備。キャンプ用具の貸し出しや休憩スペースとしても活用
  - ❖ 炊飯棟
    - ・可動式のテーブル、イスを配置。雨天時やイベントにも活用可
  - ❖ サニタリー棟
    - ・使い勝手のよいトイレ、シャワーを男女別で完備
  - ❖ 駐車場
    - ・管理棟に隣接した出入口付近に配置



ワンヘルスエリアの間伐整備



夜のキャンプ場から観る市街地

大野城総合公園（体育館・テニスコート・弓道場・アーチェリー場・多目的広場・市民球場・キャンプ場・乙金多目的広場）の年間利用者数は約20万4千人です。

### ◆ 近隣キャンプ場との違いを図るポイント（アクセスや近隣施設など、地の利を活かす）

- ① 「眺望」を最大限楽しめるサイトづくり  
キャンプ場の特性の一つである眺望を活かすため、すべてのテントサイトに段差を付け、プライベート空間を保ち、眺望を確保する。
- ② 団体利用者等を想定したスペースの確保  
デイキャンプやバーベキューを楽しめるスペースを確保し、オートサイトエリアはイベント等にも一体利用できる空間として整備する。
- ③ 豊かな自然と歴史を感じる散歩路  
本市特有の自然と歴史を活かし、ワンヘルスの森との連携を図り、子どもたちが自然の中で楽しみながら自然環境を学べる場所として整備する。

- ◎ 広場ゾーン 約 2,200 m<sup>2</sup>
  - ❖ デイキャンプやイベント等で利用できるスペースを確保
  - ❖ 日帰りバーベキューなどでも活用可
  - ❖ 利用者の安全面を考慮し、テントサイトから離れた位置にキャンプファイヤーサークル（花火可）を設置

- ◎ 森林活用ゾーン（ワンヘルスエリア） 約 8,800 m<sup>2</sup>
  - ❖ 学びと遊びのフィールドに向けたサインや観察壁を設置
  - ❖ 「自然そのものが遊具」の考え方で自然の中で遊べる空間を確保
  - ❖ 歴史と自然のサイン、樹木銘板や巣箱等の整備
  - ❖ 安全面に配慮した遊歩道や林内散策路、手摺の設置
  - ❖ 既存樹木の除伐、間伐などの展示林整備を実施